

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 黒田精工

コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 黒田 浩史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 山本 尚彦

TEL 044-555-3800

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,712	62.3	1,137		1,224		1,712	
21年3月期第2四半期	7,201		222		248		138	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	61.01	
21年3月期第2四半期	4.93	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第2四半期	18,292		5,929		31.6	205.97
21年3月期	19,097		7,547		38.7	263.59

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 5,782百万円 21年3月期 7,399百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期				0.00	0.00
22年3月期					
22年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,910	39.3	1,090		1,210		1,710		60.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	28,100,000株	21年3月期	28,100,000株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	27,482株	21年3月期	26,908株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	28,072,714株	21年3月期第2四半期	28,076,064株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の経済状況を顧みますと、昨年秋以降の世界経済の急激な落ち込みは、各国の景気刺激策の効果もあり、持ち直しをみせました。日本経済も輸出の改善、景気対策効果等からフローの生産活動は回復傾向にありますが、いまだ生産能力過剰の状態にあり、企業の設備投資は冷え込んだままに終わりました。

こうした環境下、当社グループ主要製品のユーザーであるIT関連業界、自動車業界、金型業界、工作機械業界のいずれにおいても、設備投資活動は低調なレベルに推移いたしました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は2,838百万円（前年同期比4,092百万円減、△59.0%）、売上高は2,712百万円（前年同期比4,489百万円減、△62.3%）となりました。また、利益面につきましても、労務費の削減をはじめとする様々なコスト削減努力を実施しましたが、売上減少の影響をカバーするには至らず、経常損失1,224百万円（前年同期は経常利益248百万円）の結果となりました。さらに希望退職者に対する特別退職金支払、繰延税金資産の一部取崩しを実施したため、四半期純損失1,712百万円（前年同期は四半期純利益138百万円）の結果となりました。

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりです。

○精密機器部門

[ボールねじ]

受注は前年度第4四半期を底に回復基調にあり、当第2四半期は前年度第4四半期比で82.1%の増加となりました。主要顧客である半導体、液晶、電子部品関連業界の在庫調整、生産調整が進んだものの、依然力強さに欠ける状況となっております。この結果、当第2四半期連結累計期間のボールねじの受注高は909百万円（前年同期比1,381百万円減、△60.3%）、売上高は817百万円（前年同期比1,412百万円減、△63.3%）となりました。

[ツーリング・ゲージ]

ツーリングの主要顧客である自動車関連業界は環境対応車（エコカー）需要で生産の回復は見られるものの、設備は余剰分の一部再利用に留まっている状況です。また、一般機械加工市場の需要も低迷し、当社グループも低調な受注となりました。ゲージ関連も原油価格は回復基調にあるものの、油井管生産調整の影響もあり、APIねじゲージの需要に力強さはなく低調な受注となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間のツーリング・ゲージの受注高は512百万円（前年同期比860百万円減、△62.7%）、売上高は524百万円（前年同期比977百万円減、△65.1%）となりました。

当セグメントの売上高は1,491百万円（前年同期比2,476百万円減、△62.4%）、営業損失584百万円（前年同期は営業利益197百万円）の結果となりました。

○システム機器部門

[プレス型]

精密プレス型につきましては、受注は前年度第4四半期を底に回復基調にあり、金型の修理発注も抑えられていた前期と比べると、一部では更新型の引き合いが増え、顧客の現場での操業率が向上したことが伺えます。ハイブリッド車搭載モーターコア関連事業は年初計画に沿って推移しており、次期モデルのサンプル受注も増えております。携帯電話用振動モーターコア関係は前年同期比プラスで推移しており、主要顧客の在庫調整は完了したものとされます。この結果、当第2四半期連結累計期間のプレス型の受注高は1,003百万円（前年同期比496百万円減、△33.1%）、売上高は880百万円（前年同期比756百万円減、△46.2%）となりました。

[工作機械]

平面研削盤の受注売上につきましては、世界経済の変調に伴う工作機械需要の大幅な落ち込みの流れに抗することができず、予算を大きく下回りました。とりわけ、当社グループの主要顧客である金型業界の設備投資需要は低く、回復の兆しは依然見えておりません。受注は第1四半期を底に漸増傾向にありますが、学校関連や「ものづくり支援」補助金等の特需的な受注が多く、依然民間需要、特に金型業界の本格的な需要増に至っておりません。この結果、当第2四半期連結累計期間の工作機械の受注高は144百万円（前年同期比686百万円減、△82.6%）、売上高は148百万円（前年同期比740百万円減、△83.3%）となりました。

[精密測定装置他]

超精密表面形状測定装置（当社商品名：ナノメトロ）関連では、主要顧客において徐々に回復傾向が出てきておりますが増産投資への動きまでには至らず、前期に続き受注は低調な結果に終わりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の精密測定装置他の受注高は118百万円（前年同期比577百万円減、△82.9%）、売上高は192百万円（前年同期比516百万円減、△72.9%）となりました。

当セグメントの売上高は1,220百万円（前年同期比2,013百万円減、△62.2%）、営業損失236百万円（前年同期は営業利益392百万円）の結果となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は18,292百万円となり、前連結会計年度末と比較し805百万円減少しました。これは主に売上債権、棚卸資産等の減少により流動資産が229百万円、固定資産が575百万円と、それぞれ減少したことによるものであります。

一方負債合計は12,362百万円となり、前連結会計年度末と比較し812百万円増加しました。これは仕入債務の減少等による流動負債が422百万円減少したものの、金融機関からの借入等により固定負債が1,235百万円増加したことによるものであります。

また当第2四半期連結会計期間末の純資産は5,929百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,617百万円の減少となりました。これは評価・換算差額等が95百万円増加したものの、株主資本が1,713百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に対し708百万円増の4,021百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は733百万円（前年同期383百万円の収入）となりました。これは主に売上債権及び棚卸資産の減少、減価償却費などにより資金が増加した一方、税金等調整前四半期純損失、仕入債務の減少などにより資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は95百万円（前年同期1,205百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は1,514百万円（前年同期613百万円の使用）となりました。これは主に金融機関より長期借入金にて調達をしたことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

設備投資回復の足取りが弱く、当初予想より低迷が長引きそうなことから当社グループの受注・売上は当初の見込み額より大幅に減少することを予想しております。一方、第2四半期連結累計期間中に実施した諸施策により損益分岐点が下がり、第3四半期連結会計期間以降は経常損益段階で当初見込みより多少改善すると予想いたしますが、第2四半期連結累計期間の落ち込みが大幅であったことから、11月9日に下記のとおり業績予想の修正を行っております。

平成22年3月期 通期連結業績予想の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	9,500	△680	△860	△1,080	△38円43銭
今回発表予想(B)	6,910	△1,090	△1,210	△1,710	△60円85銭
増減額(B)-(A)	△2,590	△410	△350	△630	—
増減率	△27.3	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 平成21年3月期	11,382	682	596	408	△14円54銭

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

納付税額の算定について重要な加減算項目や税額控除項目に限定する方法によっています。

なお、重要性が乏しい連結会社については、税引前四半期純利益に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じて計算する方法によっております。

② 固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,046,892	3,337,983
受取手形及び売掛金	1,179,481	1,607,606
商品及び製品	546,671	627,910
仕掛品	952,921	1,194,474
原材料及び貯蔵品	476,218	540,779
その他	329,678	452,189
貸倒引当金	1,326	1,105
流動資産合計	7,530,537	7,759,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,826,340	3,992,327
土地	3,275,185	3,275,185
その他(純額)	1,553,871	1,647,039
有形固定資産合計	8,655,397	8,914,552
無形固定資産		
投資その他の資産	131,073	136,480
投資有価証券	1,119,842	1,064,884
その他	891,001	1,256,478
貸倒引当金	35,791	35,007
投資その他の資産合計	1,975,052	2,286,355
固定資産合計	10,761,523	11,337,388
資産合計	18,292,060	19,097,228
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	753,308	1,250,525
短期借入金	3,463,064	3,186,635
未払法人税等	22,575	462
賞与引当金	99,254	135,398
その他	312,197	500,065
流動負債合計	4,650,399	5,073,087
固定負債		
長期借入金	4,376,400	3,123,462
退職給付引当金	1,870,215	1,960,820
役員退職慰労引当金	170,142	184,811
その他	1,295,038	1,207,580
固定負債合計	7,711,796	6,476,675
負債合計	12,362,196	11,549,762

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875,000	1,875,000
資本剰余金	1,451,395	1,451,395
利益剰余金	967,053	2,680,033
自己株式	6,407	6,291
株主資本合計	4,287,042	6,000,138
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	212,201	136,243
土地再評価差額金	1,337,165	1,337,165
為替換算調整勘定	54,176	73,614
評価・換算差額等合計	1,495,189	1,399,793
少数株主持分	147,633	147,534
純資産合計	5,929,864	7,547,466
負債純資産合計	18,292,060	19,097,228

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,201,466	2,712,135
売上原価	5,589,727	2,867,477
売上総利益又は売上総損失(△)	1,611,738	155,342
販売費及び一般管理費	1,389,408	982,244
営業利益又は営業損失(△)	222,329	1,137,586
営業外収益		
持分法による投資利益	1,913	—
設備賃貸料	43,371	42,458
受取ロイヤリティー	85,038	33,462
助成金収入	—	46,700
その他	53,273	27,595
営業外収益合計	183,597	150,216
営業外費用		
支払利息	79,029	86,378
持分法による投資損失	—	74,866
シンジケートローン手数料	—	29,440
その他	78,373	45,973
営業外費用合計	157,402	236,658
経常利益又は経常損失(△)	248,524	1,224,029
特別利益		
固定資産売却益	113	—
投資有価証券売却益	1,355	—
特別利益合計	1,468	—
特別損失		
投資有価証券評価損	6,494	2,158
固定資産除却損	96	332
固定資産売却損	—	1,423
特別退職金	—	176,859
店舗閉鎖損失	—	8,233
特別損失合計	6,590	189,007
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	243,403	1,413,036
法人税、住民税及び事業税	77,441	19,397
法人税等調整額	11,040	283,462
法人税等合計	88,482	302,860
少数株主利益又は少数株主損失(△)	16,359	2,917
四半期純利益又は四半期純損失(△)	138,561	1,712,979

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	243,403	1,413,036
減価償却費	387,573	401,827
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,585	1,005
賞与引当金の増減額(△は減少)	74,498	36,143
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,277	90,605
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,525	14,669
受取利息及び受取配当金	14,723	8,941
支払利息	79,029	86,378
持分法による投資損益(△は益)	1,913	74,866
有形固定資産売却損益(△は益)	113	1,423
有形固定資産廃棄損	96	332
投資有価証券売却損益(△は益)	1,355	—
投資有価証券評価損益(△は益)	6,494	2,158
売上債権の増減額(△は増加)	77,496	428,125
たな卸資産の増減額(△は増加)	192,006	387,353
仕入債務の増減額(△は減少)	222,541	497,217
その他の流動資産の増減額(△は増加)	71,958	93,389
その他の流動負債の増減額(△は減少)	87,054	110,517
その他	5,402	2,039
小計	513,875	696,310
利息及び配当金の受取額	35,584	8,758
利息の支払額	81,499	84,525
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	84,340	38,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	383,620	733,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	314	629
投資有価証券の売却による収入	1,773	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	1,200,378	180,314
有形及び無形固定資産の売却による収入	471	68,300
その他	7,055	16,907
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,205,503	95,736
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	3,450
長期借入れによる収入	—	2,048,500
長期借入金の返済による支出	471,027	522,583
リース債務の返済による支出	1,018	14,767
自己株式の取得による支出	701	116
配当金の支払額	140,398	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	613,145	1,514,483
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,859	23,382
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,450,888	708,909
現金及び現金同等物の期首残高	3,958,685	3,312,557
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,507,796	4,021,467

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	精密機器部門 (千円)	システム機器 部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,967,216	3,234,249	7,201,466	—	7,201,466
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	3,967,216	3,234,249	7,201,466	—	7,201,466
営業利益	197,295	392,517	589,813	(367,483)	222,329

(注) 1 事業区分の方法

当社グループにおける製品の範囲は極めて多岐にわたっておりますが、製造方法、販売方法等の類似性及び当社グループの売上高に照らして区分しております。

2 各事業区分の主要な製品

- (1) 精密機器部門：MCツーリング、専用ツーリング、各種保持工具、ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、各種ゲージ類、各種空気圧機器
(2) システム機器部門：積層精密プレス型、モータコア型、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、電子機器、医療機器

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	精密機器部門 (千円)	システム機器 部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,491,176	1,220,958	2,712,135	—	2,712,135
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	1,491,176	1,220,958	2,712,135	—	2,712,135
営業損失	584,663	236,764	821,428	(316,158)	1,137,586

(注) 1 事業区分の方法

当社グループにおける製品の範囲は極めて多岐にわたっておりますが、製造方法、販売方法等の類似性及び当社グループの売上高に照らして区分しております。

2 各事業区分の主要な製品

- (1) 精密機器部門：MCツーリング、専用ツーリング、各種保持工具、ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、各種ゲージ類、各種空気圧機器
(2) システム機器部門：積層精密プレス型、モータコア型、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、電子機器、医療機器

[所在地別セグメント情報]

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の合計額に占める本邦以外の割合がいずれも10%に満たないため、記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	1,122,571	136,934	73,513	18,227	1,351,245
II 連結売上高（千円）					7,201,466
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	15.6	1.9	1.0	0.3	18.8

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………韓国・台湾・中国・タイ・シンガポール

北米……………米国・カナダ

ヨーロッパ……………イタリア・ドイツ・オランダ

その他の地域……………イスラエル

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	711,435	58,352	45,855	5,524	821,166
II 連結売上高（千円）					2,712,135
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	26.2	2.2	1.7	0.2	30.3

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………韓国・台湾・中国・タイ・シンガポール

北米……………米国・カナダ

ヨーロッパ……………イタリア・ドイツ・オランダ

その他の地域……………イスラエル

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。